

令和7年度第1回テクノプラザものづくり支援センター 指定管理評価員会議 結果概要

○日時：令和7年8月4日（月） 14時00分～15時50分

○会場：テクノプラザものづくり支援センター第1会議室（各務原市テクノプラザ1-1）

1 評価の手順について

- ・県から評価手順について説明

2 令和6年度の指定管理業務の評価について

○評価方法

- ・指定管理者からの報告を受け、評価シートの項目に基づき評価員が採点。
- ・事務局にて集計し、平均点を算出。

○評価結果

評価項目	平均点
管理基準の充足状況	4.33
設置目的の達成状況	4.00
公共性の確保の状況	4.00
経営状況	4.00
派生的効果	3.67

○主な質疑応答・意見

【質疑応答】

＜評価員＞共同受注プラットフォームについて、運営は誰が行っているのか。また実績はどうなっているか。

＜指定管理者＞令和7年2月に発足したばかりであり、現在16社に参画していただいているが、実績についてはまだない状態である。

＜評価員＞参画している企業が対応可能な業務を登録しているということか。

＜指定管理者＞はい。自社のプロフィールを作成していただき、プラットフォームに掲載している。

＜評価員＞問合せ先は指定管理者になるのか。

＜指定管理者＞窓口は指定管理者となる。指定管理者で対応できない案件は、専門的な知識を有した参画企業に意見を求めることとしている。

＜評価員＞運営費用はどうしているのか。

＜指定管理者＞全て指定管理事業費から出しており、参画企業の負担はない。

＜評価員＞はいてくヒルズというオープンファクトリーを初めて開催しているが、好評だったと聞いている。こういったイベントの周知はどのようにしているのか。

＜指定管理者＞各務原市、関市、笠松町、岐南町、岐阜市は3分の2ほどであるが、全小中学校の生徒分のチラシを印刷し配布した。高校では各務原市内の3校と、岐阜工業高等学校、岐南工業高等学校の全生徒分のチラシを印刷し配布した。そのほかに、市内飲食店やセレクトショップ等を回り、チラシを配布しておいていただけるように依頼して回った。

＜評価員＞5年度に比べ来館者が増加しているが、来館者の増加が収入の増加につながるのか。

＜指定管理者＞来館者の増加に伴い、貸出施設の利用者が増加している。貸出施設の利用率が5年度は30%だったが、6年度は42%となっており、貸出施設の利用率増加が収入の増加に繋がっている。

＜評価員＞人件費の支出が当初の計画より増えたのはなぜか。

＜指定管理者＞10月から人員を増加した。当初は計画の人数で対応を見込んでいたが、イベントの内容を充実させることや、実施の数を考慮し、人員を増やした方が良いと判断した。

【意見】

- ・ 監視カメラを設置している所には、設置していることが分かるように明示してほしい。
- ・ 令和6年度から施設の名称が変わり、利用者からどの建物がどの施設なのかわかりにくいという声を聞く。Google マップでも旧名で表示されている部分があるため、配慮してほしい。